

国際シンポジウム2011

高等教育・生涯教育に おけるデジタルリテラシー

2011年2月23日(水)

幕張メッセ国際会議場会議室301号室



日 時：2011年2月23日（水）10：00～18：00
懇親会（会費制）18：15～

会 場：幕張メッセ国際会議場会議室301号室
（JR京葉線「海浜幕張駅」下車、徒歩5分）

会 費：無料

使用言語：英語（英日同時通訳付き）

日時 2011年2月23日(水) 10:00~18:00

場所 幕張メッセ国際会議場会議室301号室 (JR京葉線「海浜幕張駅」下車、徒歩5分)

会費 無料

言語 英語 (英日同時通訳付き)

■ 概要

急速に発展しているデジタル技術は教育者及び学習者にさまざまなチャレンジをもたらしています。デジタルリテラシーの意味するところは多様ですが、デジタルリテラシーは新しい形のリテラシーであり、情報コミュニケーション技術 (ICT) を活用する能力が深く関係している点では合意が得られています。高等教育や生涯教育において、デジタルリテラシーは、学習者中心主義や構成主義に基づく教育モデルを可能にするという点で、教育のパラダイム・シフトを促す原動力となりえます。日本は、世界からは大変技術的に発達した国であると見られていますが、教員や学生のデジタルリテラシーに関しては依然大きな課題となっています。デジタルリテラシーを考えるにあたって、我々はデジタルリテラシーによって何を達成したいのかを考えなければいけません。本シンポジウムでは、英国、カナダ、オーストラリア、香港、そして日本国内から有識者を招いて、それぞれの研究や実践から得た知識や考えを講演してもらい、また、学生及び教員のデジタルリテラシーを養成するにあたっての課題や方向性を議論します。

■ プログラム

総合司会：青木久美子(放送大学 ICT活用・遠隔教育センター)

開会挨拶	10:00~10:10	放送大学長 石弘光
招待講演 1	10:10~11:10	アナログリテラシー Dr. Jon Dron (Associate Professor, School of Computing and Information Systems, Athabasca University)
招待講演 2	11:10~12:10	リテラシーとデジタル大学 - 批判的論考 - Dr. Chris Jones (Reader in the Institute of Educational Technology, The Open University)
休憩	12:10~13:30	
招待講演 3	13:30~14:30	デジタルリテラシー - 香港の教員と学生の21世紀における学習の展望 - Dr. Carmel McNaught (Director, Centre for Learning Enhancement And Research, The Chinese University of Hong Kong)
招待講演 4	14:30~15:30	オーストラリアのデジタルリテラシー - スキルと能力形成における図書館の役割 - Dr. Gillam Hallam (Adjunct Professor, Faculty of Science and Technology, Queens University of Technology)
休憩	15:30~15:40	
招待講演 5	15:40~16:40	機能的デジタルリテラシーか批判的デジタルリテラシーか? 小柳 和喜雄 (奈良教育大学 教職大学院 教授)
休憩	16:40~16:50	
パネルディスカッション	16:50~17:50	何故デジタルリテラシーが今問われているのか?
閉会挨拶	17:50~18:00	放送大学 ICT活用・遠隔教育センター長 加藤浩
懇親会	18:15~	幕張メッセにて (会費制)

下記のURLの参加申し込みフォームにて必要事項を記入の上、お申し込みください。

<http://www.code.ouj.ac.jp/sympo-2011/>

お問い合わせ先

放送大学学園 総合戦略企画室 国際連携係

〒261-8586 千葉県千葉市美浜区若葉2-11 E-mail: k-symposium@ouj.ac.jp Tel: 043-298-3086,3106,3107 Fax: 043-298-3629